

講演プログラム

重力論・宇宙論

重力論・宇宙論

8月1日 15:45 - 18:30 A (大会場)	8月2日 11:30 - 12:30 A (大会場)
15:45 重宇 01a 松本 平蔵 (東京大学 M1) 重力波による初期磁場への制限	11:30 重宇 20a 片岡 明日香 (名古屋大学 M2) 非等方相関関数を用いた銀河クラスターリングの解析と宇宙論パラメータへの制限
16:00 重宇 02a 手嶋 航大 (東京大学 M1) 重力波検出に向けての取り組みと将来の展望	11:45 重宇 21a 鄭 昇明 (東京大学 M1) void 体積分布関数を用いた初期揺らぎの非ガウス性の制限
16:45 重宇 03a 正田 亜八香 (東京大学 D1) 新型重力波検出器 TOBA による背景重力波探査	12:00 重宇 22a 内藤 嘉章 (東京大学 M1) CONSTRAINTS ON REIONIZATION AND GALAXY FORMATION MODELS
17:00 重宇 04a 磯山 総一郎 (京都大学 D2) 荷電粒子に働く自己力を用いた、星の内部構造の探索	12:15 重宇 23a 島袋 隼士 (名古屋大学 M2) ミニハローによる 21cm 線吸収で探る深宇宙
17:15 重宇 05a 水島 高志 (早稲田大学 M1) two-scalar 場の場合でのガリレオン重力理論におけるド・ジッター解の解析	8月2日 15:15 - 17:00 A (大会場)
17:30 重宇 06a 山下 泰穂 (京都大学 M1) massive gravity 理論による FLRW 宇宙解	15:15 重宇 24a 渋谷 雄希 (名古屋大学 M1) Magnetic fields and Sunyaev-Zeldovich effect in galaxy clusters
17:45 重宇 07a 宅嶋 祐一郎 (広島大学 M1) Nonlinear massive gravity における開いた FRW 宇宙の加速膨張解	15:30 重宇 25a 大西 陽介 (東京工業大学 M1) ロケット実験 CIBER による宇宙赤外線背景放射の観測
18:00 重宇 08a 大淵 将貴 (早稲田大学 M1) スカラーテンソル理論におけるスカラー重力波とブラックホールの準固有振動	15:45 重宇 26a 久保田 智穂 (名古屋大学 M1) 弱い重力レンズ効果による銀河団の質量の推定
18:15 重宇 09a 桂川 大志 (名古屋大学 M1) Critical Gravity in Four Dimensions	16:00 重宇 27a 森岡 真代 (東北大学 M1) LoCuSS 銀河団サンプルに基づいたアーク統計
8月1日 19:30 - 22:00 A (大会場)	16:15 重宇 28a 泉 洗次 (弘前大学 D1) 多重重力レンズの摂動的解法
19:30 重宇 10a 松井 倫子 (東京理科大学 M2) クインテッセンスモデルにおける状態方程式の定量化	16:30 重宇 29b 大山 祥彦 (総合研究大学院大学 D1) 宇宙論的な 21cm 線放射の将来観測によるニュートリノ質量とその階層構造への制限
19:45 重宇 11a 伊藤 仁力 (東京理科大学 M1) 暗黒物質と結合した暗黒エネルギーモデルの解析	16:34 重宇 30b 出口 真輔 (熊本大学 D1) Faraday Rotation Measure Synthesis を用いた宇宙磁場観測
20:00 重宇 12a 稲畑 稔秋 (大阪市立大学 M1) M1 のための数値相対論の基礎	16:38 重宇 31b 陳 たん (東京大学 D1) 重力波天文学に向けて
20:15 重宇 13a 大河原 広樹 (弘前大学 M2) Chern-Simons 重力における量子干渉効果	16:42 重宇 32b 佐野 保道 (大阪大学 D1) ブラックホールと回転リングがつくる重力場の構築
20:30 重宇 14a 渡辺 拓 (京都大学 M1) ブラックホールの形状の潮汐力による変形	16:46 重宇 33b 黒川 拓真 (東京大学 M2) Structure formation in Warm Dark Matter Universe
20:45 重宇 15a 辰己 聡一郎 (大阪市立大学 M1) Einstein-de Sitter 時空中の Schwarzschild black hole	16:50 重宇 34b 中村 史彦 (東海大学 M2) 観器 8月2日 14:54 に変更
21:00 重宇 16a 塚本 直樹 (立教大学 D2) 重力理論を用いた天体の研究	8月3日 10:30 - 11:30 A (大会場)
21:15 重宇 17a 早津 夏己 (東京大学 M1) Hu & Sawicki モデルによる宇宙の加速膨張 ~ 重力理論修正の可能性 ~	10:30 重宇 35a 山田 慧生 (弘前大学 D1) 一般相対論的三体問題の三角解
21:30 重宇 18a 照喜名 歩 (広島大学 M2) Chameleon 重力モデルにおける銀河団ガス分布と観測的制限	10:45 重宇 36a 伏見 直将 (弘前大学 M1) 天体の運動に対する宇宙定数の影響
21:45 重宇 19a 岡田 裕行 (京都大学 M1) 赤方偏移空間歪みを用いた $f(R)$ Gravity の制限	11:00 重宇 37a 浅羽 信介 (名古屋大学 M1) Scalar Field Dark Matter
8月2日 10:30 - 11:30 A (大会場)	11:15 重宇 38a 國光 太郎 (東京大学 M2) インフレーション宇宙におけるヒッグス場の凝縮とその帰結
10:30 招待講演 日影 千秋氏 (名古屋大学) 見えてきた宇宙大構造の進化	

11:30	8月3日 11:30 - 12:30 A (大会場) 招待講演 中尾 憲一 氏 (大阪市立大学) ブラックホール宇宙	重宇 55c 蓮尾 陽 (熊本大学 M2) GRB からのダークエネルギー時間発展について 重宇 56c 高橋 智洋 (京都大学 D3) Charged Lovelock Black Hole の安定性解析 重宇 57c 小林 明美 (名古屋大学 M2) 原始ブラックホールの合体から生じる重力波の見積もり 重宇 58c 平沼 悠太 (新潟大学 D2) Search for Gravitational Wave Signal Using Hilbert-Huang Transform 重宇 59c 高麗 雄介 (京都大学 D2) de Sitter QFT on a sphere and on Lorentzian flat chart 重宇 60c 加瀬 竜太郎 (東京理科大学 D1) スカラーテンソル理論におけるヴァインシュタイン機構 重宇 61c 引地 貴之 (名古屋大学 D1) 境界を持つ時空における Causal Dynamical Triangulation 重宇 62c 木村 蘭平 (広島大学 D2) 最も一般的なスカラー・テンソル理論における FRW 背景時空での Vainshtein 機構 重宇 63c 根岸 宏行 (大阪市立大学 M2) 曲がった時空中の量子力学 重宇 64c 舟田 成登 (立教大学 M1) クインテッセンスと重力 重宇 65c 上條 正樹 (名古屋大学 M2) Symmetron Cosmology 重宇 66c 佐藤 正典 (名古屋大学 D3) 宇宙論パラメータ推定への重力レンズバイスペクトルの影響 重宇 67c 藤井 宏和 (東京大学 D1) SDSS+2dF クエーサーを用いた宇宙の大域トポロジーの制限 重宇 68c 石川 敬視 (京都大学 D1) N 体シミュレーションを用いた線形成長率 $f$ の評価法の開発 重宇 69c 岡 アキラ (東京大学 M2) ゆらぎの発展に対する非摂動的くりこみの方法 重宇 70c 津田 陽 (早稲田大学 M1) 面对称時空における相対論的 Lagrange 摂動法による密度ゆらぎの解析 重宇 71c 末延 博 (名古屋大学 M2) 2 次元ディラトン重力モデルにおけるブラックホールの蒸発 重宇 72c 国分 隆文 (立教大学 M1) Reissner-Nordstrom 時空の BSW collision 重宇 73c 押賀 弘行 (立教大学 M1) Kerr Metric Kruskal 座標上の null・timelike 軌道 重宇 74c 梶田 篤樹 (大阪市立大学 D1) Kerr Black Hole 周りでの円偏光状態にあるビーム光の伝播
9:00	8月4日 9:00 - 10:00 A (大会場) 重宇 39a 嵯峨 承平 (名古屋大学 M1) インフレーション中の磁場生成と曲率ゆらぎ-磁場及び、重力波-磁場の 3 点相関関数 9:15 重宇 40a 藤林 翔 (京都大学 M1) インフレーションに代わる、Galileon Theory に基づく初期宇宙シナリオ 9:30 重宇 41a 榊原 由貴 (京都大学 M2) Bimetric Gravity におけるインフレーション 9:45 重宇 42a 小林 由規 (東京理科大学 M1) WMAP の観測からのインフレーションモデルの制限	
10:00	8月4日 10:00 - 11:00 A (大会場) 招待講演 横山 順一 氏 (東京大学) インフレーション宇宙論	
11:00	8月4日 11:30 - 13:15 A (大会場) 11:00 重宇 43a 石塚 光 (総合研究大学院大学 M2) Search for B-modes in Cosmic Microwave Background Polarization - GroundBIRD and Other Experiments 11:15 重宇 44a 秋葉 祥希 (総合研究大学院大学 M1) B-mode を探せ ~POLARBEAR 実験とその物理~ 11:30 重宇 45a 吉野 一慶 (東京大学 M2) Affleck-Dine Baryogenesis における Q-ball 形成へのゲージ場の影響 11:45 重宇 46a 多田 祐一郎 (東京大学 M1) stochastic 効果をとりにれたハイブリッドインフレーションモデルによる巨大原始ブラックホールの生成 12:00 重宇 47a 川口 恭平 (京都大学 M1) ブラックホール不安定性と局所ペンローズ不等式 12:15 重宇 48a 中村 晴貴 (大阪市立大学 M1) Kaluza-Klein 理論におけるブラックホール解 12:30 重宇 49a 高松 良 (慶應義塾大学 M1) 因果的動的三角形分割による量子重力理論 12:45 重宇 50a 入江 力 (名古屋大学 M1) 時空の因果動的単体分割による重力の量子化と、時空の相転移の解析 13:00 重宇 51a 久木田 真吾 (名古屋大学 M1) loop quantum gravity における局所ローレンツ不変性 重宇 52c 竹内 良貴 (名古屋大学 D2) ミンコフスキー汎関数を用いた背景 21cm 線への重力レンズ効果の検証 重宇 53c 大西 武雲 (立教大学 M1) インフレーションについて 重宇 54c 田中 駿也 (茨城大学 M1) hspace1cm C T A 計画での大口径望遠鏡に用いるライトガイドの開発	

# 宇宙素粒子

# コンパクトオブジェクト

	8月2日 15:15 - 16:00 C (小会場)		8月1日 13:30 - 14:30 C (小会場)
15:15	宇素 01a 伊藤 司 (名古屋大学 M1) 新型太陽中性子望遠鏡のデータ取得回路の開発		13:30 招待講演 深沢 泰司 氏 (広島大学) フェルミガンマ線宇宙望遠鏡で見えてきた宇宙高エネルギー現象
15:30	宇素 02a 佐々井 義矩 (名古屋大学 M2) 太陽中性子観測計画 SciCRT における高速読み出し用バックエンドボードの開発		8月2日 11:30 - 12:30 B (中会場)
15:45	宇素 03a 富塚 慎司 (名古屋大学 M1) シミュレーションを用いた ASTRO-H 衛星搭載軟ガンマ線検出器の検出感度の評価		11:30 招待講演 根来 均 氏 (日本大学) 全天 X 線監視装置 MAXI によるブラックホール探査
	8月2日 16:00 - 17:00 C (小会場)		8月2日 13:30 - 15:00 C (小会場)
16:00	招待講演 手嶋 政廣 氏 (東大宇宙線研) 超高エネルギーガンマ線天文学と CTA	13:30	コン 01a 平井 遼介 (早稲田大学 M1) 連星系中の超新星爆発
	8月3日 16:00 - 18:30 C (小会場)	13:45	コン 02a 浅井 秀貴 (東北大学 M2) Axisymmetric Toroidal Modes of Relativistic Magnetized Neutron Stars
16:00	宇素 04a 畑中 謙一郎 (京都大学 M1) CTA 計画に向けた大口径望遠鏡のトリガー開発および試験状況	14:00	コン 03a 田中 洋輝 (広島大学 M1) マグネター磁場の進化とホール不安定性の関係
16:15	宇素 05a 岸本 哲朗 (京都大学 M1) CTA 計画に向けた波形サンプリング回路の開発	14:15	コン 04a 山井 勇樹 (筑波大学 M1) 相対論効果を取り入れた衝突系のブラックホールの力学進化シミュレーション
16:30	宇素 06a 上野 遥 (埼玉大学 M1) CTA 計画における大口径望遠鏡用焦点面検出器校正のための試験系の開発	14:30	コン 05b 衣川 智弥 (京都大学 M2) 重力波観測のための連星進化のモンテカルロシミュレーション
16:45	宇素 07a 馬場 浩則 (茨城大学 M1) CTA 計画における鏡開発		コン 06b 柴田 三四郎 (甲南大学 D1) ガンマ線バーストジェットからの熱的放射のモンテカルロシミュレーション
17:00	宇素 08a 後藤 昂司 (大阪市立大学 M1) テレスコープアレイ実験における低エネルギー拡張計画		コン 07b 仲内 大翼 (京都大学 D1) 低質量の種族 III 星が起こすガンマ線バーストの特徴とその観測可能性
17:15	宇素 09a 山崎 勝也 (大阪市立大学 D1) 極高エネルギー宇宙線観測プロジェクト「テレスコープアレイ実験」の最新結果		コン 08b 瀬尾 崇之 (熊本大学 M2) 磁気リコネクションの縦磁場の影響についての数値計算
17:30	宇素 10a 鈴木 麻未 (名古屋大学 M1) 宇宙線による雲凝結核生成の室内検証実験	14:45	コン 09b 和田 師也 (東京大学 M1) 高エネルギー未同定天体 RX J2056.6+4940 の多波長観測
17:45	宇素 11a 瀧谷 寛樹 (名古屋大学 M2) XMASS 実験の現状と将来の展望		コン 10b 林田 晃太郎 (九州大学 M1) Cassiopeia A 中性子星の冷却曲線の観測から考えられる物理過程について
18:00	宇素 12a 青山 尚平 (名古屋大学 D1) 有限の質量の粒子に崩壊する暗黒物質がつくる密度ゆらぎについて		コン 11b 高木 康平 (九州大学 M1) 世界の超新星サーベイの現状と今後の展望
18:15	宇素 13a 松林 恵理 (名古屋大学 M1) LHCf 実験の新型検出器の位置検出		コン 12b 守田 佳永 (九州大学 M1) SN1987A の $^{56}\text{Ni}$ の膨張速度を説明するニュートリノによる非球対称な超新星爆発について
	宇素 14c 中村 輝石 (京都大学 D2) 到来方向に感度を持つ暗黒物質探索実験 NEWAGE		8月3日 16:00 - 19:30 B (中会場)
	宇素 15c 渋谷 明伸 (名古屋大学 M2) ASTRO-H 軟ガンマ線検出器用集積回路の性能評価	16:00	コン 13a 佐藤 裕史 (東京大学 M1) Ia 型超新星の起源を探る
	宇素 16c 杉山 重実 (茨城大学 M1) フェルミガンマ線宇宙望遠鏡による超新星残骸の観測	16:15	コン 14a 柴垣 翔太 (東京大学 M1) 超新星元素合成における核分裂の及ぼす効果
	宇素 17c 武石 隆治 (東京大学 M2) 太陽フレアニュートリノの数値計算	16:30	コン 15a 石井 彩子 (東北大学 M1) 超相対論的な流体中におけるガンマ線輸送シミュレーション
	宇素 18c 藤井 俊博 (大阪市立大学 D3) 宇宙線発見から 100 年 一幕を開けた極高エネルギー宇宙線天文学	16:45	コン 16a 宋 成登 (東京大学 M1) ブラックホール時空とその周りの磁気圏環境
	8月3日 18:30 - 19:30 C (小会場)	17:00	コン 17a 小林 弘 (大阪教育大学 M1) 球対称ブラックホール降着流:臨界降着率近傍での観測的特徴
18:30	招待講演 埜 隆志 氏 (名古屋大学) 加速器実験から見える宇宙 ~ 急がば回れ ~	17:15	コン 18a 中西 俊貴 (早稲田大学 M1) Failed SN における降着円盤からの輻射の研究

# コンパクトオブジェクト

# 銀河・銀河団

17:30	<p>コン 19a 宮井 大輝 (京都大学 M1) 矮新星の降着円盤形成の SPH シミュレーション</p>	8月1日 19:30 - 22:00 B (中会場)	19:30	<p>銀河 01a 矢野 健一 (東京大学 M2) 「あかり」による ULIRG の水素輝線 Br<math>\alpha</math>-Br<math>\beta</math> の観測</p>
17:45	<p>コン 20a 高橋 和也 (早稲田大学 D1) MHDリーマン問題の解の非一意性と安定性について</p>		19:45	<p>銀河 02a 山田 梨加 (名古屋大学 M1) 「あかり」近赤外線分光で探る星形成銀河の PAH 3.3 <math>\mu</math>m 放射環境</p>
18:00	<p>コン 21a 川村 拓夢 (琉球大学 M2) 磁場星の新しい定常解</p>		20:00	<p>銀河 03a 齊藤 俊貴 (東京大学 M1) 合体銀河 VV114 内のスターバースト、AGN 活動と ALMA Cycle 0 で得られた観測結果</p>
18:15	<p>コン 22a 山本 未知彦 (東海大学 M1) SPH 法を用いたガンマ線連星 PSR B1259-63/LS2883 における流体シミュレーション</p>		20:15	<p>銀河 04a 瀬川 陽子 (北海道大学 M1) CO line emission from compact nuclear starburst disks around Active Galactic Nuclei</p>
18:30	<p>コン 23a 高木 利紘 (日本大学 M1) 全天 X 線監視装置 MAXI による Be 型 X 線連星パルサーの観測</p>		20:30	<p>銀河 05a 札本 佳伸 (京都大学 M1) AGN feedback と銀河進化</p>
18:45	<p>コン 24a 井上 真奈 (首都大学東京 M1) 「ショット解析」と「すざく」衛星による NGC4051 で探るブラックホールからの時間変動の起源</p>		20:45	<p>銀河 06a 中尾 光 (北海道大学 D1) 活動銀河核の電波強度の違いを生み出す構造の観測的研究</p>
19:00	<p>コン 25a 小林 翔悟 (東京大学 M1) 「すざく」衛星による ULX 天体 HOLMBERG IX X-1 での鉄吸収線の発見</p>		21:00	<p>銀河 07a 杉本 樹梨 (立教大学 M1) MAXI による AGN の長期変動観測</p>
19:15	<p>コン 26a 表 尚平 (東京大学 M1) 「すざく」衛星によるセイファート銀河 NGC 4151 の鉄吸収線の研究</p>		21:15	<p>銀河 08a 藤井 慎人 (東北大学 M2) FMOS の近赤外分光データを用いた z=1-2 の Obscured AGN の同定</p>
	<p>コン 27c 橋詰 克也 (総合研究大学院大学 M2) Super-Eddington 降着円盤</p>		21:30	<p>銀河 09a 川室 太希 (京都大学 M1) 狭輝線セイファート 1 型銀河の性質と X 線による探査</p>
	<p>コン 28c 中川 恵介 (新潟大学 D2) ブラックホール形成のシミュレーション</p>		21:45	<p>銀河 10a 岩城 大地 (東京大学 M1) 球状星団で探る中間質量ブラックホール</p>
	<p>コン 29c 仏坂 健太 (京都大学 D2) 連星合体から重力波・電磁波放射</p>			
	<p>コン 30c 横山 智広 (甲南大学 M2) 宇宙の化学進化への超巨大質量星の寄与</p>	8月2日 9:00 - 10:00 B (中会場)	9:00	<p>招待講演 児玉 忠恭 氏 (国立天文台) 銀河と銀河団の生い立ち</p>
	<p>コン 31c 宮内 宏 (青山学院大学 M1) ガンマ線バースト本体と可視光残光の観測量の間の相関</p>			
	<p>コン 32c 藤澤 幸太郎 (東京大学 D2) 多重極磁場と強力な内部磁場を伴ったマグネターの磁場構造</p>	8月2日 10:00 - 11:15 B (中会場)	10:00	<p>銀河 11a 熊崎 亘平 (名古屋大学 D1) Faraday tomography を用いた銀河間磁場探査の理論予想</p>
	<p>コン 33c 青木 雄太 (山形大学 D2) 強磁場電波パルサーにみられる X 線光度の超過</p>		10:15	<p>銀河 12a 藤木 和城 (東北大学 M2) 背景磁場がありかつ温度勾配を考慮した銀河プラズマから発生する磁場の成長</p>
	<p>コン 34c 佐藤 良祐 (京都大学 M2) MAXI による活動銀河核の光度変動の調査</p>		10:30	<p>銀河 13a 鈴木 裕行 (筑波大学 M1) 紫外線背景輻射場における原始銀河形成の物理</p>
	<p>コン 35c 小久保 充 (東京大学 M1) QSO 降着円盤における可視及び UV 域のフラックス変動の相関</p>		10:45	<p>銀河 14a 竹内 智恵 (京都大学 M1) The epoch of disk galaxy formation</p>
	<p>コン 36c 日浦 皓一郎 (北海道大学 M2) GENJI プログラム：電波銀河 3C 84 のモニター観測</p>		11:00	<p>銀河 15a 森下 貴弘 (東北大学 M1) HST WFC3 による GOODS-North 領域の観測による成果と MOIRCS Deep Survey による観測成果との比較。</p>
	<p>コン 37c 田崎 文得 (京都大学 D2) X 線観測による電波銀河の系統的研究と ASTRO-H に向けてのサイエンス</p>			
		8月3日 9:00 - 12:30 B (中会場)	9:00	<p>銀河 16a 桐原 崇亘 (筑波大学 M1) アンドロメダストリームで探る銀河の内部構造</p>
			9:15	<p>銀河 17a 本間 英智 (東北大学 M2) 金属量分布から推定する矮小銀河の化学進化</p>
			9:30	<p>銀河 18a 白井 博 (総合研究大学院大学 M1) 「STAR FORMATION IN THE MILKY WAY AND NEARBY GALAXIES」の論文の紹介</p>

9:45	銀河 19a 櫻井 茜 (名古屋大学 M2) AKARI 赤外線サンプルと GALEX 紫外線サンプルでみた近傍銀河の星形成活動	11:45	銀河 39a 柏野 大地 (名古屋大学 M1) FMOS による COSMOS 領域の星形成銀河の近赤外分光観測
10:00	銀河 20a 田代 貴美 (北海道大学 M1) Atomic Gas and the Regulation of Star Formation in Barred Disc Galaxies	12:00	銀河 40a 篠木 新吾 (東京大学 D1) SXDF の $z = 5.7$ 原始銀河団および銀河の性質
10:15	銀河 21a 豊内 大輔 (東北大学 M1) 銀河系ディスク形成プロセスへの制限	12:15	銀河 41a 茨木 優希子 (奈良女子大学 M1) 遠方銀河団 Abell2744 のフィラメント構造の研究
10:30	銀河 22a 泉 奈都子 (東京大学 M2) 銀河系最外縁の分子雲 Cloud1 における星生成	12:30	銀河 42a 望月 ゆきこ (東京理科大学 M1) X 線天文衛星すざくによる Abell 478 銀河団の外縁部観測から銀河団の成長過程を探る
10:45	銀河 23a 田中 亜矢子 (鹿児島大学 M2) 近傍渦巻銀河星間ガス HI ガス-H <sub>2</sub> ガス相転移	12:45	銀河 43a 吉田 浩子 (奈良女子大学 M1) すざく衛星による近傍銀河団のガスバルク運動の測定
11:00	銀河 24a 松尾 光洋 (鹿児島大学 M1) 銀河系外縁部における CO-to-H <sub>2</sub> 変換係数の算出	13:00	銀河 44a 木村 創大 (大阪大学 M2) 宇宙線による銀河団ガスの加熱
11:15	銀河 25a 馬路 博之 (大阪府立大学 M1) M 83 における <sup>13</sup> CO( $J = 3 - 2$ ) 輝線の OTF 広域マッピング観測		銀河 45c 池田 浩之 (愛媛大学 D2) Spatial Distribution of Lyman Break Galaxies around Low-Luminosity Quasars at $z \sim 4$ in the COSMOS Field
11:30	銀河 26a 渡邊 歩 (筑波大学 M1) ダークバリオン探査の進展		銀河 46c 田中 洋輔 (茨城大学 M1) 最高エネルギー宇宙線加速候補天体 AGN の多波長観測
11:45	銀河 27a 清水 貴治 (東京大学 M2) Magellanic-type galaxy のパターン速度決定の新手法		銀河 47c 廣井 和雄 (京都大学 D3) SXDS を用いた $z > 3$ 活動銀河核の空間密度と種族比の調査
12:00	銀河 28a 津田 裕也 (明星大学 M2) 宇宙流体実験-新たな流体モデルによる渦巻銀河の解析-		銀河 48c 前林 隆之 (東北大学 D2) 赤い早期型銀河における低光度活動中心核の起源
12:15	銀河 29b 市川 幸平 (京都大学 D1) 近傍宇宙における活動銀河核トラスモデルへの示唆		銀河 49c 林 隆之 (東京大学 D2) SDSS ケーサーに付随する電波銀河の探査と AGN 降着円盤風への示唆
12:18	銀河 30b 相田 優 (愛媛大学 M1) MOIRCS による 53W002 $z = 2.4$ 原始銀河団の近赤外線撮像観測		銀河 50c 下農 淳司 (東京大学国際高等研究所 その他) すばる主焦点超広視野分光器 (PFS) 計画とその現状
12:21	銀河 31b 増田 貴大 (東北大学 M1) GOODS-South 領域における $z \sim 1$ 銀河内部の星形成領域の分布		銀河 51c 義川 達人 (京都大学 D2) CMZ 付近の偏光観測から見えるもの
12:24	銀河 32b 田川 寛通 (東京大学 M1) modified Newtonian dynamics の妥当性について		銀河 52c 正木 彰伍 (名古屋大学 D3) The subhalo abundance matching model for galaxy-halo connection: extension and comparisons with SDSS
	8月4日 9:00 - 10:00 B (中会場)		銀河 53c 林 航平 (東北大学 D1) 矮小銀河ダークハローの非球対称性: LCDM 理論の新たな問題点
9:00	招待講演 田中 幹人 氏 (東北大学) NGC48 1st カタログ選抜総選挙 ~ 講演者が選ぶ 16 議席 ~		銀河 54c 服部 公平 (東京大学 D2) 銀河系ハローの Blue Horizontal Branch Star の回転運動
	8月4日 10:00 - 13:15 B (中会場)		銀河 56c 梅畑 豪紀 (東京大学 D1) $z=3.1$ の高密度領域におけるサブミリ波銀河の性質
10:00	銀河 33a 鈴木 智子 (名古屋大学 M1) 赤外線銀河分布のパワースペクトル解析		銀河 57c 山中 郷史 (東北大学 M1) zsim4 の Lyman Break Galaxy のスペクトルから見る銀河の分布
10:15	銀河 34a 今野 彰 (東京大学 M1) Lyman Alpha Emitter(LAE) の Lya/UV 光度関数で探る宇宙の再電離		銀河 58c 久保 真理子 (東北大学 D2) SSA22 領域 $z=3.1$ 原始銀河団における大質量銀河の形成
10:30	銀河 35a 大塚 拓也 (東北大学 M1) high-z における電離源付近の LAEs の特徴		銀河 55c 五十嵐 朱夏 (筑波大学 M2) 球対称等温定常銀河風の加速過程に与えるダークマターと星の質量分布の影響
10:45	銀河 36a 馬渡 健 (東北大学 D1) 53W002 領域における赤方偏移 2.4 の Ly $\alpha$ 輝線銀河分布についての研究		銀河 59c 稲垣 貴弘 (名古屋大学 D2) The formation of Brightest Cluster Galaxy
11:15	銀河 37a Shimakawa Rhythm (総合研究大学院大学 M1) Nature and Nurture Effects on the Formation and Evolution of Cluster Galaxies		
11:30	銀河 38a 世古 明史 (京都大学 M1) $z > 1$ の星形成銀河における CO $\rightarrow$ H <sub>2</sub> 変換係数の金属量依存性		

# 太陽・恒星

# 太陽・恒星

14:45	8月1日 14:45 - 15:45 C (小会場) 恒星 01a 寺西 恭雅 (名古屋大学 M1) 中小質量星の恒星風による質量放出率の理論的決定に向けて	9:00	8月3日 9:00 - 10:00 C (小会場) 恒星 13a 今村 和義 (岡山理科大学 D3) 新星の種族に関する基礎的研究
15:00	恒星 02a 田染 翔平 (北海道大学 M1) New Asymptotic Giant Branch Models for a range of metallicities	9:15	恒星 14a 小倉 和幸 (大阪教育大学 M2) The Spectrum of Nova Wind with Limb-darkening and Electron Scattering
15:15	恒星 03a 比嘉 将也 (中央大学 M1) 全天 X 線監視装置 MAXI/GSC を用いた星の巨大フレアの探査	9:30	恒星 15a 宿谷 大志 (名古屋大学 M1) Flux Transport Dynamo Model における子午面還流の抑制の効果
15:30	恒星 04a 秋山 昌俊 (中央大学 M1) 都会の真ん中での可視光測光観測	9:45	恒星 16a 田中 悠基 (京都大学 M1) 「ひので」による太陽極域磁場と磁場反転の観測
15:45	8月1日 15:45 - 16:15 C (小会場) 招待講演 松永 典之 氏 ( 東京大学木曾観測所 ) 脈動変光星の銀河系研究への応用	10:00	8月3日 10:00 - 10:30 C (小会場) 招待講演 岡本 丈典 氏 ( 宇宙科学研究所 ) 動画と精密磁場観測から探る太陽のナゾ
16:45	8月1日 16:45 - 17:15 C (小会場) 招待講演 前原 裕之 氏 ( 京都大学理学研究科付属天文台 ) 大規模サーベイと突発天体の観測的研究	10:30	8月3日 10:30 - 11:00 C (小会場) 招待講演 松本 琢磨 氏 ( 名古屋大学 ) 太陽外層、太陽風加速領域におけるアルフェン波の伝播・散逸機構について
17:15	8月1日 17:15 - 18:30 C (小会場) 恒星 05a 伴場 由美 (名古屋大学 M2) フレアトリガ領域における磁場構造とプリフレア発光の関係	18:30	8月3日 18:30 - 19:30 A (大会場) 恒星 17a 飯島 陽久 (東京大学 M2) 太陽表面における磁気ネットワークの生成過程
17:30	恒星 06a 福岡 隆敏 (京都大学 M1) 2011 年 8 月 9 日の巨大フレアに伴う、噴出現象とコロナ擾乱現象との関連について	18:45	恒星 18a 大井 瑛仁 (京都大学 D1) 活動領域彩層・超半暗部の磁場・速度場解析
17:45	恒星 07a 中村 尚樹 (京都大学 M2) MHD シミュレーションによるポスト・フレアループの三次元構造の研究	19:00	恒星 19a 松井 悠起 (東京大学 D1) リコネクションジェットと彩層蒸発ジェットの MHD シミュレーション
18:00	恒星 08a 金子 岳史 (東京大学 M1) 太陽浮上磁場-コロナアーケード相互作用によるプラズマ放出現象の 2.5 次元シミュレーション	19:15	恒星 20a 高橋 卓也 (京都大学 M1) 宇宙天気現象の数値計算による考察
18:15	恒星 09b 高棹 真介 (京都大学 M2) 太陽フレアの速いエネルギー解放はいかにして起きるのか?		恒星 21c 山口 雅史 (京都大学 M2) 京都大学飛騨天文台 FMT で観測されたモートン波現象に付随するフィラメント噴出の統計的解析
18:18	恒星 10b 佐藤 龍伍 (茨城大学 M1) 磁気リコネクションにおける波の発生とコロナ加熱について		恒星 22c 菊池 之宏 (九州大学 D2) Triple- $\alpha$ 反応率の不定性が超新星爆発直前における大質量星の元素組成に与える影響
18:21	恒星 11b 清水 佑輔 (立教大学 M2) X 線天文衛星で観測した恒星のスペクトル解析		恒星 23c 高山 正輝 (東北大学 D1) OSARG 型変光星の脈動モデル
18:24	恒星 12b 高橋 沙綾 (お茶の水女子大学 M1) Stellar Pulsations from Synchronized Elements		恒星 24c 小木 美奈子 (岡山理科大学 M1) W Ser 型食連星 V367 Cyg の測光ならびに分光観測
			恒星 25c 佐藤 景子 (東海大学 M1) ガンマ線連星系 HESS J0632+057 の近赤外観測

# 星間現象

# 星間現象

8月1日 13:30 - 14:30 A (大会場)	
13:30	星間 01a 亀崎 達矢 (鹿児島大学 D1) VERA による星形成領域 NGC 2264 の観測
13:45	星間 02a 大橋 聡史 (東京大学 M1) NH3 分子輝線を用いた馬頭星雲の観測
14:00	星間 03a 榎谷 玲依 (名古屋大学 D1) NANTEN2 の広域観測による銀河系中心分子層の詳細解析
14:15	星間 04a 清水 美来 (奈良女子大学 M1) 「すざく」を用いた銀河系中心領域における超巨大質量ブラックホールの強度変動の探査
	星間 05c 西川 綾乃 (慶應義塾大学 M2) N <sub>2</sub> H <sup>+</sup> J=1-0 輝線で探る銀河系中心分子雲の重力束縛度
	星間 06c 劉 周強 (京都大学 D3) X-ray Light Curve of the Sagittarius A* Active History by Three Dimensional View of X-ray Reflection Nebulae
	星間 07c 安井 一樹 (京都大学 M2) 銀河系中心の近赤外線観測による星分布と X 線分布の比較
8月1日 14:30 - 15:30 A (大会場)	
14:30	招待講演 岡 朋治 氏 (慶応大学) 星間現象と電波天文と銀中 (銀河系中心)
8月2日 13:30 - 14:45 B (中会場)	
13:30	星間 08a (参加キャンセル)
13:30	星間 09a 梶 良平 (名古屋大学 M2) NANTEN Super CO survey : CMB 観測衛星「Planck」のデータとの比較
13:45	星間 10a 指田 朝郎 (慶應義塾大学 M2) HCO <sup>+</sup> J=1-0, CO J=3-2 輝線による超新星残骸 W44 の膨張運動の解析
14:00	星間 11a 國生 拓摩 (名古屋大学 M1) IRSF 近赤外線狭帯域フィルターによる超新星残骸 IC443 の研究
14:15	星間 12a 河野 貴文 (広島大学 M1) PoGOLite 気球実験による”かに星雲”の硬 X 線帯域での偏光観測の初期成果報告
	星間 13c 宮崎 竜乃介 (鹿児島大学 M1) メーザー源 -IRAS 18553+0414- の位相補償解析について
	星間 14c 藤原 弘 (鹿児島大学 M2) 星形成領域 ON2N の内部構造及び内部運動
	星間 15c 柏木 俊哉 (東京大学 D1) SFD 銀河系ダスト減光地図に含まれる銀河の遠赤外線放射
8月2日 14:45 - 15:45 B (中会場)	
14:45	招待講演 金田 英宏 氏 (名古屋大学) 赤外線天文衛星「あかり」が解き明かす星間固体物質の進化

8月2日 15:45 - 17:15 B (中会場)	
15:45	星間 16a 加藤 広樹 (大阪大学 M1) プラズマ中のダスト音波
16:00	星間 17a 堤 昭裕 (名古屋大学 M2) 磁気乱流の統計的アプローチに向けて
16:15	星間 18a 井尾 勇貴 (名古屋大学 M2) 流体方程式の数値計算について
16:30	星間 19a 高平 謙 (北海道大学 M1) The Study of Cloud-Cloud Collision (CCC) using Enzo code
16:45	星間 20a 小澤 武揚 (明星大学 M2) 螺旋磁場モデルから得られる銀河系の Rotation Measure 分布
17:00	星間 21b 中島 大智 (名古屋大学 M1) 「なんてん」による 12CO (J=1-0) 銀河面サーベイ
17:03	星間 22b 工藤 祐己 (千葉大学 M2) 局所 3次元計算による非熱的粒子が円盤ダイナミクスに及ぼす影響
	星間 23c 玉澤 春史 (京都大学 D1) 銀河中心非熱フィラメント構造に関する磁気流体計算
8月3日 11:15 - 12:30 C (小会場)	
11:15	星間 24a 村上 浩章 (東京大学 M1) X 線天文衛星「すざく」による超新星残骸 G330.2+1.0 の非熱的 X 線の観測
11:30	星間 25a 菅原 隆介 (京都大学 M1) すざく衛星による超新星残骸 3C 397 の観測
11:45	星間 26a 八隅 真人 (京都大学 M1) すざく衛星による超新星残骸 G349.7+0.2 の観測
12:00	星間 27a 佐野 栄俊 (名古屋大学 D2) 超新星残骸 RX J1713.7-3946 における星間ガスと X 線放射
12:15	星間 28a 河島 久実子 (京都大学 M2) すざくによるガンマ線未同定天体 HESS J1841-055 の観測
	星間 29c 中島 真也 (京都大学 D2) 銀河中心領域の南側に伸びる巨大なプラズマ放射の観測
	星間 30c 中島 良介 (青山学院大学 M2) 確立微分方程式を用いた宇宙線粒子加速シミュレーションコードの開発

# 星形成・惑星系

8月1日 16:45 - 17:30 B (中会場)	
16:45	星惑 01a 稲吉 恒平 (京都大学 D2) 初代銀河形成時における超巨大ブラックホール形成のシナリオ
17:00	星惑 02a 須藤 佳依 (甲南大学 M1) 宇宙最初の星形成
17:15	星惑 03a 野口 みな子 (名古屋大学 M1) 重力不安定性における最小ジーゼンズ質量の再検討
8月1日 17:30 - 18:30 B (中会場)	
17:30	招待講演 田村 元秀 氏 (国立天文台) 系外惑星観測の現状と未来: 直接観測を中心として
8月2日 9:00 - 12:30 C (小会場)	
9:00	星惑 04a 小熊 洋右 (新潟大学 M1) へびつかい座 $\rho$ 分子雲の内部構造解析
9:15	星惑 05a 三森 崇利 (東京工業大学 M1) 原始惑星系円盤の観測的特徴とその成長
9:30	星惑 06a 和田 義輝 (東京工業大学 M1) 原始惑星系円盤のギャップ生成と進化
9:45	星惑 07a 田崎 亮 (京都大学 M1) 原始惑星系円盤内の物質移動
10:00	星惑 08a 藤井 悠里 (名古屋大学 D1) 乱流によるかき混ぜの効果が原始惑星系円盤の進化に与える影響
10:15	星惑 09a 柴田 雄 (東京大学 M1) N 体シミュレーションを用いた微惑星の暴走成長
10:30	星惑 10a 加納 孝基 (名古屋大学 M1) 惑星形成における天体の衝突・破壊について
10:45	星惑 11b 黒崎 健二 (東京工業大学 M2) 水に富む系外惑星の熱進化と質量散逸
11:00	星惑 12a 工藤 哲也 (名古屋大学 M1) 海王星移動メカニズムの再考察
11:15	星惑 13a 落合 裕道 (東京工業大学 M1) 太陽系外における連惑星の形成とその観測
11:30	星惑 14a 松永 和成 (名古屋大学 M1) 非磁化惑星 (火星) からの大気散逸機構に関するレビュー
11:45	星惑 15a 田中 佑希 (名古屋大学 M2) ホットジュピターにおけるオーム加熱および質量散逸量について
12:00	星惑 16a 上田 翔士 (東京工業大学 M1) 内部海を持つ地球型惑星の生命居住可能性
12:15	星惑 17a 小松 勇 (筑波大学 D1) 光合成生物のアンテナ機構から推測する系外惑星の biosignature
8月3日 9:00 - 10:00 A (大会場)	
9:00	招待講演 奥住 聡 氏 (名古屋大学) 惑星形成理論への招待

# 星形成・惑星系

8月3日 16:00 - 17:15 A (大会場)	
16:00	星惑 18b 高原 佑典 (埼玉大学 M1) すばる望遠鏡を用いた超低質量天体の分光観測
16:03	星惑 19b 星 久樹 (埼玉大学 M1) へびつかい座分子雲 L1709 領域の星形成探査
16:10	星惑 20a 水木 敏幸 (東北大学 M1) SEEDS 概要
16:25	星惑 21a 増田 賢人 (東京大学 M1) ケプラー衛星による超高精度測光観測: ellipsoidal variation のモデル化とその応用
16:40	星惑 22a 鬼塚 昌宏 (総合研究大学院大学 M1) スーパーアースを含んだ多惑星系の視線速度法による観測
16:55	星惑 23a 横田 英博 (東京大学 M2) Debris disk の進化と主星年齢との関係
	星惑 24c 久保田 明夏 (筑波大学 M2) 初代星バイナリーの形成過程 輻射の影響について
	星惑 25c 土井 健太郎 (甲南大学 D2) 低金属量ガスにおける星形成の非理想磁気流体シミュレーション
	星惑 26c 片岡 章雅 (総合研究大学院大学 D1) 偏光観測で探る星形成過程における磁力線構造
	星惑 27c 志野 渚 (総合研究大学院大学 D1) メタノールレーザーによる大質量星の形成シナリオの検証
	星惑 28c 大谷 卓也 (大阪大学 D2) Simultaneous Growth of a Protostar and a Young Circumstellar Disk in the Early Phase of Disk Formation
	星惑 29c 船野 光太郎 (山形大学 M2) 原始惑星系円盤における磁場散逸効果を含めた磁気回転不安定性
	星惑 30c 石本 大貴 (京都大学 M2) 原始惑星系円盤の化学進化における円盤風の影響
	星惑 31c 田村 隆哉 (京都大学 D2) The formation time scale of classical Kuiper belt with Two Group Approximation
	星惑 32c 高橋 実道 (名古屋大学 D1) 粘性円盤の不安定性によるガス惑星形成
	星惑 33c 長谷川 幸彦 (大阪大学 D2) KHI 成長率とダストサイズ分布
	星惑 34c 木村 成生 (大阪大学 D1) ダストが受ける揚力の効果
	星惑 35c 岩井 彩 (神戸大学 M2) 高軌道傾斜角を持つメインベルト小惑星の可視分光観測
	星惑 36c 鈴木 浩太 (名古屋大学 M2) 重力マイクロレンズサーベイ観測による惑星イベント候補の発見
	星惑 37c 藤井 里沙 (神戸大学 M1) パルスレーザーアブレーション法におけるブルーム衝突過程の流体シミュレーション
8月3日 17:15 - 18:15 A (大会場)	
17:15	招待講演 丹羽 隆裕 氏 (八戸高専) ミリ波で見る誘発的星形成



# 観測機器

# 観測機器

8月1日 13:30 - 16:15 B (中会場)		8月2日 9:00 - 10:15 A (大会場)	
13:30	観器 01a 大野 良人 (東北大学 M2) 広視野多天体補償光学のためトモグラフィック波面再構成の検証	21:48	観器 22b 芹田 夏実 (日本大学 M1) MAXI のデータを用いた X 線新星の短時間変動解析
13:45	観器 02a 夏目 典明 (京都大学 M1) 地上からの系外惑星の直接撮像を目的とした補償光学装置の開発	21:51	観器 23b 吉田 裕貴 (立教大学 M2) すざく衛星搭載 X 線 CCD カメラ XIS の Self-Charge-Filling 効果
14:00	観器 03a 深瀬 雅央 (日本大学 M1) UNI-PAC 法を使用したコロナグラフィシステムについて	21:54	観器 24b 梅津 里香 (立教大学 M1) SpaceWire を用いた CCD 駆動実験
14:15	観器 04a 北川 祐太朗 (東京大学 M1) 近赤外線 2 色同時多天体分光器 SWIMS における面分光ユニットの開発	8月2日 9:00 - 10:15 A (大会場)	
14:30	観器 05a 菅井 駿 (青山学院大学 M1) AROMA-W を用いた可視光突発・変光天体検出システムにおける検出効率とその評価	9:00	観器 25a 柴田 和憲 (東京大学 M2) 地上重力波検出器 KAGRA における光学設計
14:45	観器 06a 石田 勇介 (埼玉大学 M1) 超広視野可視光望遠鏡 WIDGET-2 による GRB の探査	9:15	観器 26a 高倉 理 (大阪大学 M2) 重力波検出器における標準量子限界の突破
15:00	観器 07a 若島 雄大 (金沢大学 M1) コーデッドマスクを用いた高赤方偏移ガンマ線バースト撮像検出器の基礎開発	9:30	観器 27a 中野 雅之 (東京大学 M1) 干渉計型重力波検出器における QND 測定について
15:15	観器 08a 米持 元 (金沢大学 M1) ガンマ線バースト偏光検出器 GAP の成果と新型偏光検出器の基礎開発	9:45	観器 28a 牛場 崇文 (東京大学 M2) 干渉計型重力波検出器 KAGRA における低温技術
15:30	観器 09a 中村 祥吾 (京都大学 M1) 気球を用いた MeV ガンマ線観測実験その 1	10:00	観器 29b 関口 貴令 (東京大学 D1) 地上重力波検出器における地面振動雑音対策
15:45	観器 10a 古村 翔太郎 (京都大学 M2) 気球を用いた MeV ガンマ線観測実験その 2	10:03	観器 30b Chen Dan (東京大学 D1) 宇宙重力波アンテナ DECIGO 及び DECIGO Pathfinder の試験マス制御系の開発
16:00	観器 11a 吉田 賢司 (甲南大学 M2) JEM-EUSO 望遠鏡の Front-End ASIC の機能試験	10:06	観器 31b 橋場 康人 (東京大学 M2) 可視光ファブリ・ペロー分光撮像装置の開発
8月1日 19:30 - 22:00 C (小会場)		10:09	観器 32b 宇井 崇紘 (広島大学 M2) 可視・近赤外線同時観測装置 HONIR と読み出しボードの開発について
19:30	観器 12a 水野 いづみ (鹿児島大学 D1) 電波単一鏡偏波観測の較正手法の確立	8月2日 13:30 - 14:30 A (大会場)	
19:45	観器 13a 古家野 誠 (大阪府立大学 M2) 野辺山 4.5 m 電波望遠鏡用 100 GHz 帯受信機 FOREST の開発	13:30	招待講演 川村 静児 氏 (東大宇宙線研) 重力波検出実験
20:00	観器 14a 関口 繁之 (東京大学 M1) CMB 観測に向けたミリ波多素子超伝導体共振器カメラの開発	8月2日 14:30 - 15:00 A (大会場)	
20:15	観器 15a 佐々木 浩人 (甲南大学 M1) 最高エネルギー宇宙線の電波望遠鏡による検出	14:30	観器 33a 三澤 瑠花 (CNRS/Université Paul Sabatier D1) 気球による銀河面偏光観測プロジェクト PILOT の紹介
20:30	観器 16a 仲野 優毅 (青山学院大学 M1) MAXI-GSC の太陽電池パドル遮蔽について	14:45	観器 34b 徳田 一起 (大阪府立大学 M1) 野辺山 45m 電波望遠鏡に搭載する 45GHz 帯両偏波新受信機の開発
20:45	観器 17a 菱 右京 (金沢大学 M1) 自作断熱消磁冷凍機上での X 線マイクロカロリメータの動作と性能向上を目指した研究	14:48	観器 35b 太田 裕也 (大阪府立大学 M2) 1.85m 電波望遠鏡搭載 230 GHz 帯両偏波 2SB 受信機の開発
21:00	観器 18a 飯島 律子 (首都大学東京 M1) X 線天文衛星に向けた超伝導遷移端温度計型マイクロカロリメータの開発	14:51	観器 36b 井上 優貴 (総合研究大学院大学 M2) POLARBEAR2 における極低温光学チェンバーの開発
21:15	観器 19a 山本 亮 (東京大学 M2) TES 型 X 線マイクロカロリメータの AM 変調による信号多重化の実証	14:54	観器 b 中村 史彦 (東海大学 M2) GAPS 気球実験における姿勢制御システム
21:30	観器 20a 菊地 貴大 (東京大学 M1) 誘電体温度計を用いたメガピクセルマイクロカロリメータの開発		
21:45	観器 21b 小松 飛斗 (立教大学 M1) 衛星搭載用較正線源としての X 線発生装置の開発基礎実験		

# 観測機器

# その他

8月4日 9:00 - 11:15 C (小会場)	
9:00	<p>観器 37a 西田 瑛量 (東京大学 M2)  <i>ASTRO-H</i> 衛星に搭載するアクティブシールドに用いる <b>BGO</b> シンチレーターのフライト品試験</p>
9:15	<p>観器 38a 近藤 恵介 (総合研究大学院大学 M1)            衛星搭載用 <b>X</b> 線 <b>CCD</b> カメラの性能向上に向けた評価システムの構築</p>
9:30	<p>観器 39a 井澤 正治 (東京工業大学 M1)  <i>ASTRO-H</i> 搭載 <b>X</b> 線 <b>CCD</b> カメラのコンタミネーション対策</p>
9:45	<p>観器 40a 山口 直 (埼玉大学 M1)            次世代 <b>X</b> 線マイクロカロリメータのための最適微分フィルタの実装</p>
10:00	<p>観器 41a 杉本 樹信 (埼玉大学 M1)  <i>ASTRO-H</i> における <b>SpaceWire</b> の時刻コード抜けに対する堅牢性の検証</p>
10:15	<p>観器 42a 富川 和紀 (首都大学東京 M1)            次期 <b>X</b> 線天文衛星 <i>ASTRO-H</i> に搭載される軟 <b>X</b> 線望遠鏡 (<b>SXT</b>) の地上性能評価</p>
10:30	<p>観器 43a 滝澤 峻也 (名古屋大学 M1)  <i>ASTRO-H</i> 搭載用硬 <b>X</b> 線用望遠鏡 (<b>HXT</b>)1 号機の性能評価</p>
10:45	<p>観器 44a 黒田 祐司 (名古屋大学 M1)            ピエゾ・アクチュエータを用いた <b>X</b> 線望遠鏡の光学調整</p>
11:00	<p>観器 45a 垣内 巧也 (首都大学東京 M1)            将来衛星に向けた超軽量、高分解能 <b>MEMS X</b> 線光学系の開発</p>
8月4日 11:15 - 11:45 C (小会場)	
11:15	<p>招待講演 山田 良透 氏 (京都大学)  <b>Nano-JASMINE</b> 衛星の開発</p>
8月4日 11:45 - 12:15 C (小会場)	
11:45	<p>招待講演 酒匂 信匡 氏 (信州大学)            小型人工衛星を利用した宇宙科学研究へのご招待</p>
8月4日 12:15 - 13:15 C (小会場)	
12:15	<p>観器 46a 藤田 翔 (京都大学 M2)            位置天文観測衛星の撮像中の姿勢変動による像のずれの影響</p>
12:30	<p>観器 47a 尾関 真二 (名古屋大学 M1)            「あかり」と <b>IRSF</b> によるデブリ円盤の探査と、<b>SPICA</b> コロナグラフ装置の許容誤差解析</p>
12:45	<p>観器 48a (参加キャンセル)</p>
13:00	<p>観器 49a 木幡 洸大 (名古屋大学 M1)            新しい遠赤外線検出素子開発—<b>BIB</b> 型 <b>Ge:Ga</b> 素子の性能評価</p> <p>観器 50c 志達 めぐみ (京都大学 D1)            全天 <b>X</b> 線監視装置 <b>MAXI/GSC</b> の非 <b>X</b> 線バックグラウンドの性質とモデル化</p>
	<p>他 01c 篠木 新吾 (東京大学 D1)            大学院生出張授業プロジェクト (<b>BAP</b>) の活動報告 2012</p>